

野村万作・野村萬齋

友の会



時代を超えて息づく美学。
洗練された笑いが織りなす
心豊かな和楽の世界。

墨塗 大名 石田 幸雄

解説 野村 萬齋

— 休憩十五分 —

川上 盲目の夫 野村 万作

文荷 太郎冠者 野村 萬齋

太郎冠者 飯田 聡史 豪

女 岡 内藤 連

後見 内藤 連

妻 高野 和憲

後見 飯田 豪

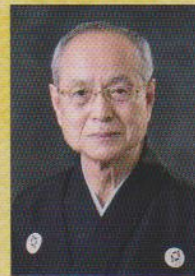
主 竹山 悠樹

次郎冠者 内藤 連

後見 岡 聡史



野村 萬齋



野村 万作

2018年 12月22日【土】

- ◎開演：午後2時00分(午後1時30分開場) ◎会場：扶桑文化会館 ◎主催：扶桑町・扶桑町教育委員会
- ◎入場料【全席指定】：一般/S席 4,500円 A席 3,800円 ※友の会会員価格の取り扱いは、扶桑文化会館の窓口・電話受付のみで、会員証1枚につき1枚までとなります。
- 扶桑文化会館友の会会員/S席 4,200円 A席 3,500円 ※車イスでご来館の方は、チケットをお求めの際にお申し出ください。
- ◎チケット取扱開始：●扶桑文化会館／扶桑文化会館友の会会員8月25日(土)・《一般》9月1日(土) いずれも午前9時00分より ※電話受付も承ります。但し、取扱枚数に制限があります。
- チケットぴあ／9月1日(土)午前10時00分より:Pコード(488-665) 電話0570-02-9999 ※チケットぴあで予約したチケットの引き取り・直接購入窓口は、チケットぴあ、セブンイレブン、サークルKサンクスとなります。

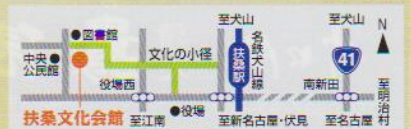
◎チケットのお求め・お問い合わせは
扶桑文化会館 TEL.0587-93-9000 〈月曜日(祝日は除く)・火曜日休館〉
〒480-0102 愛知県丹羽郡扶桑町大字高雄字福塚200 http://www.md.ccnw.ne.jp/fusobunka/
☆平成30年度「扶桑文化会館 友の会」会員を募集中です。チケットの先行発売、会員割引価格等、様々な特典がございます。



FUSO THEATER
扶桑文化会館

〈交通〉名鉄犬山線「扶桑駅」下車、西へ徒歩約10分
公共交通機関のご利用に、ご協力をお願いします

扶桑文化会館 検索



あらすじ

墨塗 (すみぬり)

訴訟のために遠国から都にやって来ていた大名が、無事解決したので帰郷することになり、太郎冠者を連れて都でなじみになった女の元に別れを告げに出かける。話を聞いた女は悲しげに涙を流すが、実は髪水入れの水で目を濡らして泣き真似をしていた!それを見抜いた太郎冠者は大名に知らせるのだが、大名は信じようとしない。そこで太郎冠者は機転を利かせて…

「平中物語」などに見える古来の説話を素材にした狂言です。古今東西変わらない、男と女の「化かし合い」。結末は如何に?

川上 (かわかみ)

吉野の里に住む盲目の夫が、靈験あらたかという川上の地蔵に参詣する。参籠の甲斐あり早速目が開くが、地蔵のお告げには「連れ添う妻が悪縁ゆえ離別せよ」という条件があった。それを聞いた妻は腹を立て、地蔵をのしり、絶対に別れないと言いつ張る。そこで夫は…

人間と運命の対峙を鮮やかに描いた異色の名作です。しみじみとした趣の中にも考えさせられる、緊迫感に満ちたドラマをご堪能下さい。

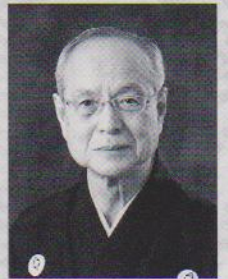
文荷 (ふみにない)

太郎冠者と次郎冠者は、主人から恋文を届けるよう命じられる。文を持ちたくない二人は、道々文を押し付け合うが、やむなく竹竿に結んで二人で担ぐことにする。なぜか文が重く感じられるので、能「恋重荷」の一節を思い出し、謡いながら運んでいく。手紙の中身が気になって仕方がない二人は、とうとう文を開いて読んでしまうのだが…

能「恋重荷」のパロディになっている作品です。登場人物のやり取りの面白さに加え、謡曲を取り込んだ興味あふれる内容になっています。

狂言の会

野村万作・萬齋



のむら まん さく
野村 万作

1931年生。重要無形文化財各個指定保持者(人間国宝)、文化功労者。祖父・故初世野村萬齋及び父・故六世野村万蔵に師事。早稲田大学文学部卒業。「万作の色」主宰。軽妙洒脱かつ緻密な表現のなかに深い情感を湛える、品格ある芸は、狂言の一つの頂点を感ぜさせる。国内外で狂言普及に貢献。ハワイ大・ワシントン大では客員教授を務める。狂言の技術の粋が尽くされる秘曲「釣狐」に長年取り組み、その演技で客員教授を受賞。その他、紀伊國屋演劇賞、日本芸術院賞、松尾芸能賞、紫綬褒章、坪内逍遙大賞、朝日賞、旭日小紋章等、多数の受賞歴を持つ。狂言師として新たな試みにもしばしば取り組み、代表作に「一月に憑かれたピエロ」「千午線の祀り」「秋江」「法螺待」「敦」「山月記」「名人伝」等がある。



のむら まん さい
野村 萬齋

1966年生。祖父・故六世野村万蔵及び父・野村万作に師事。重要無形文化財総合指定者。東京芸術大学音楽学部卒業。「狂言こざる乃座」主宰。国内外で多数の狂言・能公演に参加、普及に貢献する一方、現代劇や映画・テレビドラマの主演、舞台「敦」「山月記」「名人伝」「国盗人」「千午線の祀り」など古典の技法を駆使した作品の演出など幅広く活躍。現代に生きる狂言師としてあらゆる活動を通して狂言の在り方を問うている。94年に文化庁芸術家在外研修制度により渡英。芸術祭新人賞・優秀賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞、朝日舞台芸術賞、紀伊國屋演劇賞等受賞。「千午線の祀り」の再演で2017年度毎日芸術賞千田是也賞、読売演劇大賞最優秀作品賞を受賞。世田谷パブリックシアター芸術監督。



いしだ ゆき お
石田 幸雄

1949年生。野村万作に師事。重要無形文化財総合指定者。すでに数多くの優れた舞台歴を持つ野村家の重要な演者。大曲の「三番叟」「釣狐」「花子」をすでに初演。国内外で狂言・能公演に多数参加、普及に貢献している。「雙舟会」で芸術祭大賞、個人で観世寿夫記念法政大学能楽賞受賞。大胆かつ緻密な演技で、古典はもとより「国盗人」など新しい試みの舞台でも存在感を見せる。普及公演での的確な解説にも定評がある。学習院大学非常勤講師。



たかの かず のり
高野 和憲

1972年生。野村万作に師事。国立能楽堂・能楽二役第四期研修修了。能楽協会会員。万作一門の研鑽会「狂言ざん座」同人。すでに「奈須与市語」「三番叟」「釣狐」等を披露。「万作の会」の演者の一人として国内外の狂言・能公演に出演。朝日カルチャーセンター・新国立劇場演劇研究所をはじめ、全国各地での狂言講座、ワークショップで講師を勤め、狂言の普及に力を注いでいる。

竹山 悠樹 (たけやま ゆうき)

1980年生。野村万作に師事。能楽協会会員。万作一門の研鑽会「狂言ざん座」同人。5歳の時に「丑」の立案で初舞台、一業平餅「権見役」「朝猿」子狼役を演じるなど幼少より舞台に立つ。既に「奈須与市語」「三番叟」を披露。「万作の会」の演者の一人として国内外の狂言・能公演に出演。殊に問狂言など語りの分野で存在感を示している。

内藤 連 (ないとう れん)

1986年生。野村万作に師事。成城大学経済学部卒業。国立能楽堂・能楽二役第八期研修修了。能楽協会会員。これまでに「奈須与市語」「三番叟」を披露。全国各地の狂言ワークショップで講師を勤めるほか、東京大学、お茶の水女子大学、成城大学の狂言サークルを指導している。

岡 聡史 (おか さとし)

1980年生。野村万作に師事。能楽協会会員。文化学院卒業後狂言の道を志し修業を続け、これまでに「奈須与市語」を披露。

飯田 豪 (いいた こう)

1989年生。野村万作に師事。日本大学芸術学部卒業。能楽協会会員。既に「面箱」を披露。

DE(O) sign design communication

SIGN DECO

http://s-deco.jp TEL 0587-93-5222



大藪建設株式会社

〒480-0104 愛知県丹羽郡扶桑町大字斎藤字東屋敷6番地
TEL 0587-93-2631/FAX 0587-93-5273
http://www.oyabukensetsu.com E-mail:info@oyabukensetsu.com



PRINTING MURASE CO.,LTD

ムラセ印刷株式会社

扶桑町高郷東125 TEL 0587-93-6077
E-mail : info@murase-print.co.jp FAX 0587-93-1219



おいしい伝統 清処 壽俵屋 茶良漬 付口漬

TEL/0587-93-8670 〒480-0101 扶桑町大字山那字屋敷地757 http://www.fusomoriguchi.co.jp/ FAX/0587-93-5313